

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 登録実用新案公報(U)

(11) 実用新案登録番号  
実用新案登録第3143034号  
(U3143034)

(45) 発行日 平成20年7月10日(2008.7.10)

(24) 登録日 平成20年6月18日(2008.6.18)

(51) Int.Cl. F 1  
B 6 5 D 6 5 / 0 4 (2006.01) B 6 5 D 6 5 / 0 4 Z

評価書の請求 未請求 請求項の数 1 書面 (全 4 頁)

(21) 出願番号 実願2007-10181 (U2007-10181)  
(22) 出願日 平成19年12月19日(2007.12.19)(73) 実用新案権者 508017317  
松倉 册枝  
長野県北佐久郡軽井沢町軽井沢201-1  
テルミドール鹿島の森102号  
(72) 考案者 松倉 册枝  
長野県北佐久郡軽井沢町軽井沢201-1  
テルミドール鹿島の森102号

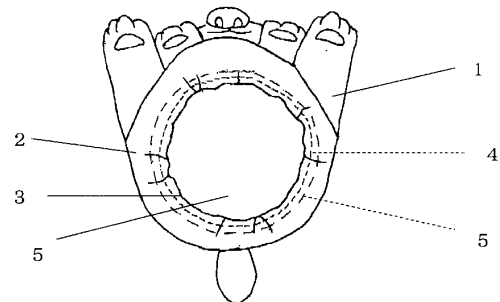
(54) 【考案の名称】 ペット用着ぐるみ型骨壺カバー

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 視覚的印象の緩和と衝撃からの保護を目的としたペット用着ぐるみ型骨壺カバーを提供する。

【解決手段】 着ぐるみ(内容はぬいぐるみと同等の意味であるが、本件では骨壺にかぶせる形状であることから「着ぐるみ」と称する)の形状でペット用骨壺を隠す。着ぐるみ本体1の底部2には骨壺を収めるための開口部3を設けペット用骨壺5が収納できるようにし、その開口部3はゴム4又は紐を通せるように縫い合わせて開口部を締めるようにしている。着ぐるみ1の中はあらかじめ想定している骨壺の大きさに合わせてクッション材となる素材を縫い合わせる。

【選択図】 図1



**【実用新案登録請求の範囲】****【請求項 1】**

ペットの形状をした着ぐるみ（ぬいぐるみと同様の意味であるが、本件では着ぐるみと称する）で、その底面に開口部を設けペット用骨壺を収納する。開口部にはゴム又は紐で締まるようにしたペット用骨壺カバーである。

**【考案の詳細な説明】****【技術分野】****【0001】**

本考案は、ペット用骨壺を視覚的印象の緩和また衝撃から保護することに関する。

**【背景技術】****【0002】**

従来、ペット用骨壺のカバーとしては人間と同様の仏門で用いる生地等で作られた袋の形状で上部開口部から骨壺を収納した後、袋の上部を紐でくくるものであった。これはあくまで骨壺の形状に似た一般的な人間用の骨壺の袋を流用しているものが多い。

**【考案の開示】****【考案が解決しようとする課題】****【0003】**

従来、ペットが亡くなった場合、人間と同様墓地に埋葬する方法があるが、ペットの所有者は、前記にある人間同様の措置を行うには、費用がかかること又ペット用墓地も少ないことから自宅に骨壺を置いている場合が多々見受けられる。また、持ち主は喪失感や寂しさから自宅に骨壺を置いておきたいという希望もある。自宅に骨壺を置いた場合、第三者が骨壺を見て違和感を示すものもいる。また、骨壺の多くは陶器で作られたものがあり、衝撃には弱く割れたりするものがある。ペット用骨壺を自宅に置くことで上記のような課題を解決するためにペット用骨壺を外部から見て骨壺と認識できないようにしたい。課題は自宅にペット用骨壺を置きたいこと、そのためペット用骨壺を隠したい。また衝撃から守りたいことが課題である。

**【課題を解決するための手段】****【0004】**

本考案は、着ぐるみ（内容はぬいぐるみと同様の意味であるが、本件では骨壺にかぶせる形状であることからあえて「着ぐるみ」と称する）の形状でペット用骨壺を隠したい。また上記課題の衝撃にもある程度耐えうるものにする。またペット所有者の喪失感を癒すことも考慮し飼っていたペットの犬種、或いは猫その他動物の種類に合わせその形状に近い着ぐるみを取り揃える。

**【考案の効果】****【0005】**

ペットの所有者がペットの死後、ペット所有者の事情により骨壺を自宅に設置する場合に骨壺が着ぐるみにより見えなくなり、所有者のペットに似せた着ぐるみにより喪失感を和らげる効果が得られる。第三者がペット所有者宅に訪問された際にペットの骨壺が見えなく着ぐるみが設置してあるだけの印象しか与えず第三者に違和感や影響を及ぼさない効果がある。また骨壺本体は陶器で出来ているものが多く衝撃にも着ぐるみによる緩衝の役割も果たせる効果がある。

**【考案を実施するための最良の形態】****【0006】**

ペット用骨壺の形態が種々異なるが、ある程度の汎用性のある形態を段階的にサイズを決め骨壺が収容できる容量で数段階のサイズの着ぐるみを製作する。また、ペット所有者のペットの種類に応じた形状の着ぐるみを製作する。ペット所有者によっては架空の動物なりキャラクターを要望される場合も考慮した着ぐるみも製作する。

**【実施例】****【0007】**

本考案の着ぐるみ本体 1 の底部 2 には骨壺を収めるための開口部 3 を設けペット用骨壺 5

10

20

30

40

50

が収納できるようにし、その開口部 3 はゴム 4 又は紐を通せるように縫い合わせて開口部を締めるようにしている。着ぐるみ本体 1 の中はあらかじめ想定している骨壺の大きさに合わせてクッション材となる素材として綿やスポンジ及び軟質のプラスチック等を縫い合わせる。

【図面の簡単な説明】

【0008】

【図1】底面図

【図2】正面図

【図3】背面図

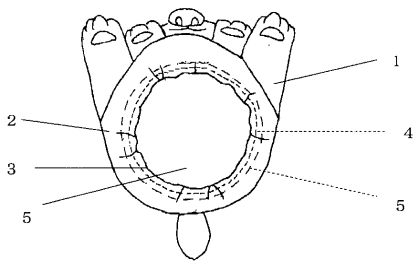
【図4】側面図

【符号の説明】

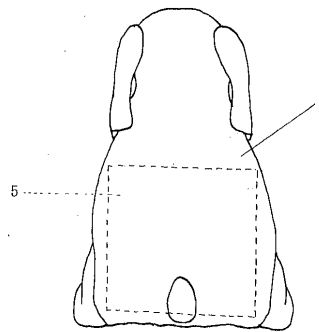
【0009】

1. 着ぐるみ本体
2. 着ぐるみの底部
3. 底部の開口部
4. 開口部に縫い合わせたゴム部
5. ペット用骨壺

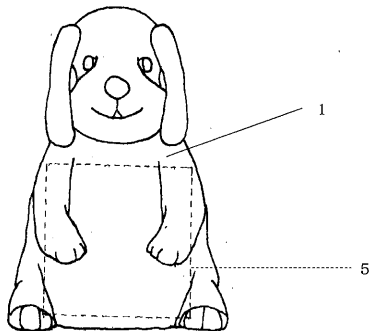
【図1】



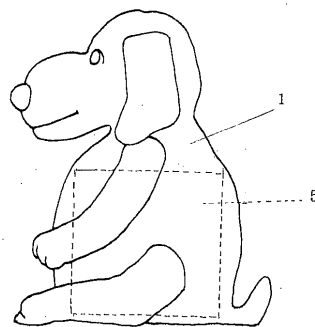
【図3】



【図2】



【図4】



## 【手続補正書】

【提出日】平成20年4月2日(2008.4.2)

## 【手続補正1】

【補正対象書類名】実用新案登録請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【実用新案登録請求の範囲】

## 【請求項1】

ペットの形状をした着ぐるみ（ぬいぐるみと同様の意味であるが、本件では着ぐるみと称する）で、その底面に開口部を設け開口部にはゴム又は紐で締まるようにしたペット用着ぐるみ型骨壺カバー。